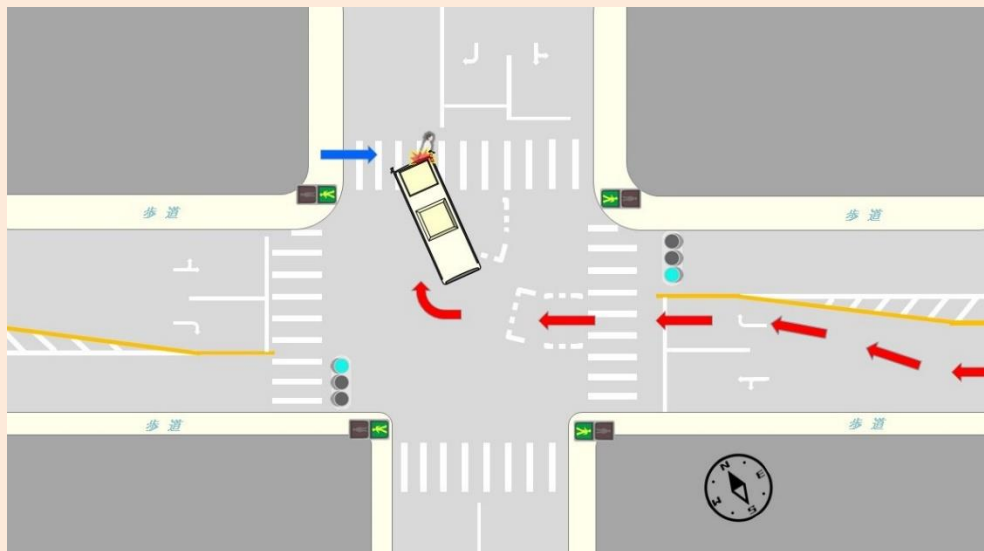


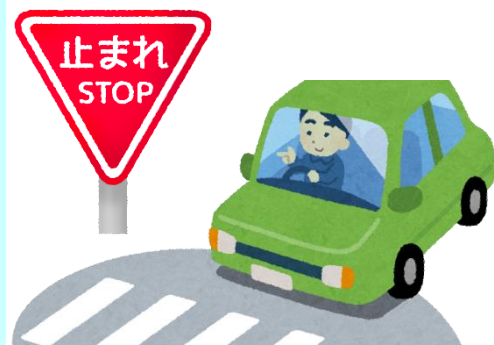
【事故概要】

- 年月：令和4年6月
- 概要：路線バスが国道を走行中、交差点内で一旦停車することなく右折をしたため、横断歩道を横断中の歩行者に気づかず、衝突したものの。
この事故により、歩行者は事故翌日死亡した。



【原因】

- 運転者
 - ・ 交差点内で一旦停車することなく右折したため、周囲の交通状況の確認が不十分。
- 事業者・運行管理者
 - ・ 添乗指導を行う回数や対象者が一部に限られており、適切な指導・監督が不十分。
 - ・ 車両のピラー部に、視界を妨げる可能性のあるものが取付けられていた。



右左折の際は一旦停止。
周囲の交通状況を確認。

【再発防止策】

- 適切な運行管理、指導監督
 - ・ 右左折の際は一旦停車し、周囲の状況を十分確認すること。
 - ・ 添乗指導について、年間の最低回数を決めて実施。 また、適性診断で「危険感受性」「注意の配分」など指摘のあった運転者を重点対象者として実施する。
 - ・ 車両に運転者の視野を妨げる恐れのあるもの、運転操作に影響を与える可能性のあるものを取付けない。



効果的な添乗指導の実施。